

■釧路湿原国立公園におけるエゾシカの個体数調整等の環境省事業の概要

生態系維持回復事業計画（平成28年4月1日策定）

実施計画（平成30年4月1日策定）
計画期間【2018(平成30)年4月1日～2022(令和4)年3月31日】

	平成25年 2013	平成26年 2014	平成27年 2015	平成28年 2016	平成29年 2017	平成30年 2018	令和元年 2019	令和2年 2020	令和3年 2021	
達古武 実施地区	手法検討・試験捕獲（累計176頭捕獲）			個体数調整（累計32頭捕獲）		生息状況モニタリング<自動撮影カメラ>				
	GPS首輪を装着したエゾシカの行動追跡（12頭）									
コッタロ 候補地区						捕獲手法検討		生息状況モニタリング<ロードセンサス>		
	環境省環境研究総合推進費※ 「釧路湿原にて超高密度化状態となったシカの管理を成功させる戦略と戦術」									
右岸堤防 候補地区	GPS首輪を装着したエゾシカの行動追跡（32頭）				捕獲手法検討		個体数調整<サケマス捕獲場分岐>（累計138頭捕獲）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・約66%の個体が通年湿原内に留まる ・湿原のシカ生息密度：平均約7.8頭/km² ・湿原全体の越冬個体数（推定）：約2,000頭 						個体数調整<土砂堆積場>（累計71頭捕獲）			
							赤沼での捕獲手法検討			
							生息状況モニタリング<ロードセンサス・定点センサス>			

※実施主体：酪農学園大学、(地独)北海道立総合研究機構、釧路公立大学